

豊科町誌 別編(民俗II)

目次

口 絵
例 言

別編(民俗II)

第一章 生 業 — 地場産業を中心に —

第一節 稲 作

- 一 仕事始め 三
- 二 種籾の取りかた、保管について 四
- 三 苗 代 四
 - 1 種浸し(浸種) 2 豊科町で作られた稲の品種 3 水温調節 4 苗代作りと儀礼
- 四 本 田 八
 - 1 耕起と代かき 2 田植え 3 水利と稲作
- 五 肥料と稲作 一五
- 六 本田の管理 一六
 - 1 田の草取り 2 本田への追肥 3 病害虫の防除 4 水の管理

七 収 穫 一九

- 1 稲刈り・刈り干し 2 脱穀 3 機械化の時代 4 籾すり・精米

八 稲作に関係した行事 二二

九 雪形と生物季節の農事利用 二三

第二節 畑 作 二四

一 麦 作 二四

- 1 麦蒔き 2 麦踏み 3 追肥 4 土入れ 5 刈り取り 6 脱穀 7 製粉

二 畑の作物と畑作道具 二五

第三節 養 蚕 二六

一 安曇地方の養蚕業 二六

二 蚕の飼育 二六

第四節 わさび栽培 二九

一 わさびについて 二九

二 豊科町重柳におけるわさび栽培の沿革 三〇

- 1 初期 2 梨畑からの転換 3 土地改良区によるわさび田の造成とその後

三 わさび栽培の実際 三三

- 1 重柳のわさび田の分布と特徴 2 栽培している品種 3

採種から本田への苗の植え付け(定植)まで 4 本田におけるわさび栽培暦 5 収穫後のわさび

第五節 中曽根表の生産

- 一 沿 革
- 二 中曽根表における七島蘭(琉球)の栽培法
- 1 苗床 2 植え付け(定植) 3 管理 4 刈り取り 5 選別
- 三 中曽根表の加工法
- 1 割く 2 乾燥 3 たて糸 4 麻の入手 5 ござ織り 6 仕上げ

第二章 社会生活 — 社会集団 —

第一節 ムラ社会の結びつき

- 一 ムラの発生
- 二 ムラの構成
- 1 自治会組織 2 地域の中の公民館活動 3 農家組合 4 寺社関係の役員 5 その他の役員
- 三 ムラの仕事と援助

第二節 本家・分家の結びつき

- 一 呼び名・期間
- 二 付き合い
- 三 分家慣行
- 四 相 続
- 五 同 族

第三節 年齢集団の結びつき

第三章 民間信仰の諸相

第一節 地藏信仰

- 一 地藏信仰
- 一 豊科町の地藏菩薩
- 1 六地藏 2 金龍寺の六像石幢 3 子安地藏尊・掌善童子・掌悪童子 4 地藏菩薩と念仏供養 5 上飯田の地藏菩薩 6 重柳の焼き場

第二節 観音信仰

- 一 観音信仰
- 1 如意輪観音 2 馬頭観音 3 牛頭観音

第三節 虚空蔵信仰

- 一 信仰の概要
- 一 田沢中村の虚空蔵堂

第四節 大黒信仰

- 一 大黒信仰と石塔
- 二 甲子講の行事

第五節 稻荷信仰

- 一 稻荷信仰の起源と普及

1 神道系の稲荷神社 2 仏教系の稲荷神社

二 玄蕃稲荷神社と初午祭り……………九七

三 一乗寺最上位豊興稲荷社……………一〇〇

四 稲荷神社の分布……………一〇二

1 神社境内の稲荷社 2 集落の稲荷社 3 同族の稲荷神社

4 個人または数戸で祀る稲荷神社 5 企業の稲荷神社 6

居館跡の稲荷神社

五 豊科町の稲荷信仰の特徴……………一二三

第六節 蚕神信仰……………一二六

一 蚕神信仰の起源―蚕神信仰と稲荷信仰……………一二六

二 蚕神の分布……………一二七

第七節 天 神……………一三〇

第八節 山 神……………一三一

第九節 社 宮 司……………一三二

第一〇節 大日信仰・阿弥陀信仰・薬師信仰……………一三三

一 寺社縁起……………一三三

1 田沢村神社之縁起 2 重柳村大日堂并本尊の記

二 大日堂と薬師堂の本尊……………一五七

1 神明社の本尊・大日如来(阿弥陀如来) 2 重柳大日

堂の本尊・大日如来 3 本村大日堂の本尊・大日如来 4

田沢・白龍山田満寺の薬師如来 5 細萱殿村の薬師如来

6 下鳥羽日光寺の懸仏

第四章 祭礼・芸能

はじめに……………一六五

第一節 鎮守の春の祭りと芸能……………一六七

一 田沢神明宮の祭礼と獅子神楽……………一六七

二 各社の祭礼と芸能……………一七七

1 新田神社 2 八坂神社(成相) 3 本村神社 4 諏訪神

社(中曽根) 5 諏訪松尾神社(寺所) 6 諏訪神社上社

(飯田)・下社(下飯田) 7 八幡宮(踏入) 8 春日神

社(熊倉)

第二節 鎮守の秋の祭りと芸能……………一八六

一 重柳八幡宮の祭礼と壮大な「祭り舟」……………一八六

二 各社の祭礼と芸能……………一九一

1 大同神社(下鳥羽) 2 諏訪神社(上鳥羽) 3 吉野神

社 4 諏訪神社(真々部) 5 五社神社(明科町光) 6

洲波神社(細萱)

第三節 あづみ野祭りで見聞きされる民謡踊り……………二〇一

一 あづみ野祭りの概要と意味……………二〇一

二 あづみ野祭りの民謡踊り等……………二〇二

1 「あづみ野ばやし」 2 豊科調安曇節と豊科小唄

第五章 言語伝承

はじめに……………二二三

第一節 昔 話……………二二四

一 鳥吞爺……………二二四

二 ばたもちどっこいしょ……………二二四

三 へっこき嫁……………二二五

四 への芸……………二二五

第二節 伝説

一 常念坊	二二五
二 行人塚	二二六
三 白石	二二六
四 法蔵寺の狐	二二七
五 御殿林の狐	二二八
六 デーラボッチャ	二二八
七 田沢の神明宮	二二九
八 神明様の船石	二二九
九 日光寺の狐	二二九
一〇 長者池	二二九
一一 重柳の狐	二二九
一二 お玉柳	二二九
一三 日光泉小太郎	二二九
一四 蟬(こおろぎ)の地名の由来	二二九
第三節 民謡歌詞	二三三
一 田唄	二三三
二 業唄	二三三
三 道唄	二三三
四 地つき唄	二三三
五 祝い唄	二三三
六 盆踊り唄	二三三
七 童唄	二三三

付録 旧豊科町にみる昭和三〇年当時の年中行事

一二月	二二七
正月	二二九
二月	二三四
三月	二三六
四月	二三七
五月	二三八
六月	二三八
七月	二三九
八月	二四〇
九月	二四一
一〇月	二四二
十一月	二四二
付 神社例祭	二四三

執筆分担

あとかき

調査協力者名簿

豊科町誌編纂委員会名簿

豊科町誌刊行会名簿